ラベル表示・SDS等交付の義務対象物質に関する労働 安全衛生法関係法令の見直しの検討に係る意見聴取につ いて

ラベル表示・SDS等交付の義務対象物質について、労働安全衛生法施行令 (昭和 47 年政令第 318 号) 第 18 条を改正し、以下のとおり対象物質の追加を 行う。

別表に掲げる物質を労働安全衛生規則(昭和 47 年労働省令第 32 号)別表第 2 に追加し、別表に掲げる物質及びこれらを含有する製剤その他の物を譲渡し、 又は提供する者に対し、労働安全衛生法(昭和 47 年法律第 57 号。以下「法」 という。)第 57 条第 1 項に基づく名称等の表示及び法第 57 条の 2 第 1 項に基づ く文書の交付等の措置を義務付ける(令和 10 年 4 月施行予定)。

「労働安全衛生規則の一部を改正する省令案」(概要)

別表 ラベル表示・SDS交付等の義務対象物質(追加)

名称	備考	CAS RN * 1
1 N-アクリルモルホリド		5117-12-4
2 N- (3-アミノプロピル) -N-ドデシルプロパン-1, 3-ジアミン		2372-82-9
3 アンモニウム=トリデカオロヘキサン-1-スルホナート		68259-08-5
4 アンモニウム=トリデカフルオロヘプタノアート		6130-43-4
5 ウンデカフルオロヘキサン酸		307-24-4
6 (オキソラン-2-イル) メチル=プロパ-2-エノアート		2399-48-6
7 オクタン酸		124-07-2
8 カリウム=トリデカフルオロヘプタノアート		21049-36-5
9 クロルギ酸イソプロピル		108-23-6
10 5-クロロ-2-ニトロアニリン		1635-61-6
五ナトリウム=2, 2', 2", 2"'ー { $[(カルボキシラトメチル) アザンジイル] ビス (エタンー2, 1-ジイルニトリロ) } テトラアセタート$		140-01-2
12 ジエチレントリアミン五酢酸		67-43-6
13 四塩化チタニウム		7550-45-0
2 - (N, N - y + y + y + z + z + z + z + z + z + z +		119344-86-4
14 ル) ブタン-1-オン		113344 00 4
15 ジメチルスルファモイル=クロリド		13360-57-1
16 3, 5 - ジメチルピラゾール		67-51-6
17 水素化リチウムアルミニウム		16853-85-3
18 2-ターシャリーブチルシクロヘキシル=アセタート		88-41-5
19 トリスノニルフェニルホスファイト		26523-78-4
20 1, 1, 1-トリス(ヒドロキシメチル)プロパン		77-99-6
21 トリデカフルオロヘプタン酸		375-85-9
22 トリフェニルホスホロチオエート		597-82-0
23 4, 4'- [2, 2, 2-トリフルオロ-1-(トリフルオロメチル) エチリデン] ジフェノール		1478-61-1
24 (E) -4-(2, 6, 6-トリメチルシクロヘキサ-1-エン-1-イル) ブタ-3-エン- 2-オン		79-77-6
rel-(1R, 2R, 4R) -1, 7, 7-トリメチルビシクロ[2. 2. 1] ヘプタン-2		5888-33-5
- イル=プロパー 2 - エノアート 26 ナトリウム=トリデカフルオロヘプタノアート		20109-59-5
20 アトリウム=トリテガフルオロヘフダファート 27 ノナデカフルオロデカン酸		335-76-2
28 /ナフルオロブタン-1 - スルホン酸		375-73-5
29 2 - ピロリドン		616-45-5
30 フェニルヒドラジン一硫酸(2/1)		52033-74-6
30 フェールにドランク一帆紋(2 / 1) 31、3、4、4、5、5、6、6、7、7、8、8、9、9、10、10、10 - ヘプタデカフ		678-39-7
31 ルオロデカン-1-オール (別名8:2フルオロテロマーアルコール)		010-39-1
32 ペルフルオロ(ヘキサン-1-スルホン酸)(別名PFHxS)		355-46-4
33 ポルトランドセメント		65997-15-1
34 メタクリル酸 2 - ヒドロキシプロピルとメタクリル酸 1 - ヒドロキシプロパン - 2 - イルの混合物		27813-02-1
120 35 メタホウ酸バリウム		13701-59-2
36 2 - メチル - 4 - イソチアゾリン - 3 - オン		2682-20-4

備考:

- ※ 法令上の名称の整理により、複数の物質をまとめた名称として規定しているものがある。
- *1 CAS番号は本省令案では規定しないが、参考として示すもの。なお、構造異性体等が存在する場合、異なるCAS番号が割り振られることがあるが、ラベル表示・SDS交付等の義務対象物質の当否の判断は物質名で行う。